

1 同型 $\mathbb{Z}/n\mathbb{Z} \cong \mathbb{Z}_n$ を示せ。

写像 φ を,

$$\varphi: \mathbb{Z} \rightarrow \mathbb{Z}_n, a \mapsto [a]$$

と定めると, φ は全射準同型である.

(\because) $\forall [a] \in \mathbb{Z}_n$ に対して, $a \in \mathbb{Z}$ をとると, $\varphi(a) = [a]$ である. 従って, φ は全射である.

$\forall a, b \in \mathbb{Z}$ をとる.

$$\varphi(a+b) = [a+b] = [a] + [b] = \varphi(a) + \varphi(b).$$

従って, φ は準同型である.

また, $\ker \varphi = n\mathbb{Z}$ である.

(\because) $\forall x \in n\mathbb{Z}$ をとる. $x = nk$ ($k \in \mathbb{Z}$) とおける.

$$\varphi(x) = [x] = [nk] = [0]$$

であるので, $\ker \varphi = n\mathbb{Z}$ である (加法群 \mathbb{Z}_n の単位元は $[0]$).

φ は全射であるので, $\varphi(\mathbb{Z}) = \mathbb{Z}_n$. 従って, 準同型定理より, $\mathbb{Z}/n\mathbb{Z} \cong \mathbb{Z}_n$ である.

2 同型 $S_n/A_n \cong \{\pm 1\}$ を示せ。

写像 φ を,

$$\varphi: S_n \rightarrow \{\pm 1\}, \sigma \mapsto \text{sgn}(\sigma)$$

と定めると, φ は全射準同型である.

(\because) $\forall m \in \{\pm 1\}$ に対して, $\text{sgn}(\sigma) = m$ となる $\sigma \in S_n$ をとると, $\varphi(\sigma) = m$ である. 従って, φ は全射である.

$\forall \sigma, \tau \in S_n$ をとる.

$$\varphi(\sigma\tau) = \text{sgn}(\sigma\tau) = \text{sgn}(\sigma)\text{sgn}(\tau) = \varphi(\sigma)\varphi(\tau).$$

従って, φ は準同型である.

また, $\ker \varphi = A_n$ である.

(\because)

$$A_n = \{\rho \in S_n; \text{sgn}(\rho) = 1\}$$

であるので, $\forall \rho \in A_n$ に対して $\varphi(\rho) = 1$ である. 従って, $\ker \varphi = A_n$ である (乗法群 $\{\pm 1\}$ の単位元は 1).

φ は全射であるので, $\varphi(S_n) = \{\pm 1\}$. 従って, 準同型定理より, $S_n/A_n \cong \{\pm 1\}$ である.